

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2026 年 4 月 20 日作成 第 1.0 版

研究課題名	転移性脳腫瘍に対する定位放射線治療における造影 CT に伴う HU 値変化が線量分布に与える影響の検討
研究の対象	2021 年 4 月から 2026 年 4 月の間に、横浜市立大学附属病院で転移性脳腫瘍と診断された患者さんのうち、定位放射線治療を行った方を対象とします。
研究の目的	転移性脳腫瘍に対し、定位放射線治療が用いられています。治療計画用の CT を撮影する際、線量計算用の非造影相撮影と、腫瘍描出用の造影相撮影を実施しますが、2 相の撮影は被ばく線量が増加します。本研究では、転移性脳腫瘍に対する定位放射線治療における造影 CT に伴う HU 値変化が線量分布に与える影響を明らかにし、造影 CT 単独運用の妥当性が示すことを目的としています。
研究の方法	実際に定位放射線治療で用いた CT 画像と治療計画を使用し、造影相での線量計算を行う事で、脳と腫瘍の線量を算出します。 いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2026 年 7 月 15 日（研究機関の長の許可日） ～ 西暦 2028 年 3 月 31 日 情報の利用を開始する予定日：西暦 2026 年 7 月 15 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 ・背景情報: 年齢、腫瘍径および体積 ・画像検査: 定位放射線治療計画時に撮影した CT データ ・治療計画における線量情報
試料・情報の授受	本研究では、外部機関との情報の授受はありません。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管しますが、個人が特定できないよう加工した情報については本研究の目的以外の学術研究に用いられる可能性または他の研究機関に提供する可能性があるため、保管期間終了後も期間を定めず保管します。 廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で情報は復元できない方法で廃棄します。
個人情報の管理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありません。

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

試料・情報の管理について責任を有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属病院 放射線部 伊澤光太郎
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。本研究は資金を要しない研究です。本研究の計画・実施・報告において、研究の結果及び結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益の衝突」は存在しません。
研究組織（利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院 放射線部 伊澤光太郎
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。	
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 放射線部 （研究責任者・問い合わせ担当者）伊澤光太郎 電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-787-2931	